

新生児の予防接種から在宅看取りまで

生活習慣病などの慢性疾患の管理。
発熱・頭痛・腹痛など体の不調への対応を通して、
健康寿命の延長を目指します。

【診療科目】

- 内科 ■ 小児科 ■ 内分泌科 ■ 循環器内科
- 在宅医療 ■ 予防接種 ■ 物忘れ外来 ■ 精神科

【主な検査】

入院・専門医受診の必要性の判断は、院内検査などで
当日行います

- レントゲン検査 ■ 超音波（エコー）検査
- 心電図、24時間心電図
- 院内血液検査（血球検査 CRP など）
- 動脈硬化（脈波）検査
- 呼吸機能検査 ■ 血液ガス分析

【協力医療機関】 ■ 海南病院

【おもな紹介先病院】

入院治療や精密検査が必要な場合、病院へ紹介いたします。

- 海南病院 ■ 名古屋大学医学部付属病院
- 名古屋第一赤十字病院 ■ 名古屋市立大学病院

あいち診療所おふくろ

	月	火	水	木	金	土
午前	畑	村岡	村岡	村岡	畑	村岡
午後	畑	村岡	村岡	村岡	村岡	

診療時間 午前 9:00 ~ 12:00
午後 4:00 ~ 7:00
休診日 土曜日午後・日・祝

要予約

- 【在宅医療】 毎週水・金 午後 1:00 ~ 3:00
- 【もの忘れ外来】 毎月第1・3・5金 午後 2:00 ~ 4:30
- 【精神科】 必ず事前にお問合せください

TEL 0567-67-7202

時間外診療

電話での相談に24時間対応します。
通院中の方（処方日数内）で、体調に
変化があり相談したい場合は、いつ
でもお電話下さい。

発熱・下痢の時

来院前に必ずお電話下さい。
待ち時間が少なく診察できるように
致します。

予防接種

事前予約にて受付していますので必
ずお電話下さい。

「あいち診療所おふくろ」の風景



広報部より

梅雨の季節です。それでも晴れ間の陽ざしは、乾いた夏を
感じるようになりました。
地上の生命活動を根幹で支えるのは植物たちで、その花は、
曇った日には花弁を閉じたまま開きません。
太陽が上ると、コスモスやヒマワリなどの花は陽に向かって
大きく花弁を開きます。これを植物の向日性といいます。

不思議なのは、なぜ花はいつも太陽を見ているのだろうか？
太陽の放つ恵み（光のエネルギー）を受けているというのが
植物学の定説なんです。もしかすると太陽から恵みを受けて
いるだけでなく、その反対に、私たちの知らないエネルギーを
太陽に与えているのではないだろうか？と思うことがあります。
植物がいつも太陽に向かって花を咲かせるように、私たちも
明るい未来に向かって人生の花を咲かせましょう。



- おふくろの家 特別養護老人ホーム 短期入所（空床利用型） 〒498-0004 愛知県弥富市又八 2-128-1 TEL (0567) 67-7201 FAX (0567) 67-7203
- あいち診療所 おふくろ 〒498-0004 愛知県弥富市又八 2-127-2 TEL (0567) 67-7202 FAX (0567) 69-7202
- 訪問看護ステーション いも〜れ 〒498-0006 愛知県弥富市佐古木 7-33-2 TEL (0567) 67-7204 FAX (0567) 69-7203
リバーサイド加賀 102 号
- いも〜れ奄美 訪問看護ステーション 〒894-1531 鹿児島県大島郡瀬戸内町 TEL (0997) 76-3770
大字手安字瀬戸田原 809-2 FAX (0997) 76-3771



理事長に就任して

理事長 畑 恒士



当法人は1992年から在
宅医療に取り組んできたあい
ち診療会の活動の延長線上に
生まれました。

「幸せ」でありたい。誰もが
願うことではないでしょうか。
しかし何が実現したら「幸
せ」なのかはあいまいで、百
人百様の幸せがあります。

私は、健康が幸せのベー
スだと思っています。

親指にとげが刺さって化膿
して使えなくなった時、初め
て親指の「健康」を自覚する
ことがあります。健康とは失
われて初めてその大切さに気
がつくものでもあるのです。

「住民の健康は何によって左
右されるか」という研究で医
療の影響力は20%に満たない
と言われています。

コントロールされない高血
圧より孤独の方が死亡リスク
が高いともいわれています。
医者として血圧の管理を
しっかりするように患者さん

に話すよりも、友達を作るこ
と、人との繋がりを大切にす
ることを勧めた方が長生きに
役立つということです。

健康を左右する因子として、
貧困、性別、職場環境、人間
関係、教育、障害など様々な
ものがあります。

私達は社会福祉法人として、
それらの問題にも積極的に取
り組んでいきたいと思えます。
しかし、これらの領域に関
する専門性は持ち合わせてい
ません。地域の皆様の様々な
助けを頂きながら、できる事
から形にして行きたいと思
います。御協力の程、宜しくお
願い致します。

願ひ致します。

私たちの約束

① 私たちの目標は幸せの追求です
私たちは、自らの幸せのために
働きます
私たちは、利用者一人一人の幸
せを考えます

② 健康こそがすべての源です
私たちは、自らの健康を大切に
します
私たちは、利用者一人一人の健
康に貢献します

③ 私たちの取り組みでより良い制
度を生み出します
私たちの活動は制度によって縛
られず
幸せの追求の中で決定します

④ 笑顔は幸せを生みます
笑顔であいさつしましょう

認知症コラム 第1回



認知症について

皆さんはじめまして。

あいち診療所おふくろの物忘れ担当医師の野村と申します。

認知症の方々は、現在日本全体で 443 万人程度、65 歳以上の年齢と共に増加して、90 歳以上では半分以上が認知症と言われています。

残念ながら認知症の予防や治療について劇的な効果がある方法はないのが現状です。つまり多くの高齢者がそれを抱えながら生活するありふれた病気となりました。



あいち診療所おふくろ
医師 野村 秀樹

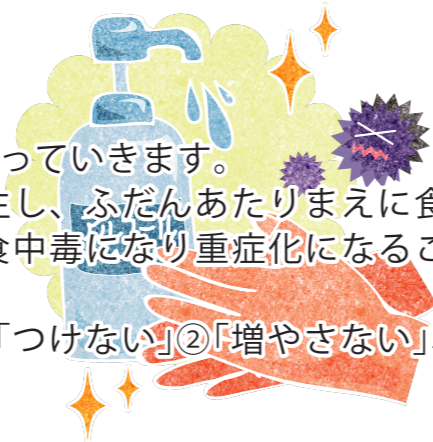
一方で認知症は周囲の環境や対応の仕方によって生活しやすくなったり大変になったりする病気でもあります。

この先 1 年間かけて認知症の予防・治療のみでなく認知症の人とのかかわり方などもお伝えしたいと思います。

また、こういうことが知りたい等のご要望があればお寄せください。

読む栄養

食中毒予防①



いよいよ夏本番になり暑さが厳しくなっています。これからの季節には食中毒が多く発生し、ふだんあたりまえに食べている家庭料理から思わぬことで食中毒になり重症化になることもあります。

食中毒予防の 3 原則は食中毒菌を、①「つけない」②「増やさない」、③「やっつける」です。

①手洗い、器具の洗浄・消毒はしっかりと行い、タオル・フキンは清潔な物に取り換えましょう。肉や魚は買い物時にはビニール袋に入れて汁が野菜などに触れないようにします。

②買い物した食材は保冷バックや保冷剤（氷）と一緒にに入れて素早くお家の冷蔵庫へ。調理した食べ物はすぐに食べ、余った食材は冷蔵庫に。時間が経った、怪しいと思う食べ物は思い切って捨ててください。

③野菜はよく洗い、調理ではしっかり加熱してください。レンジ加熱はむらなくしっかり行い、温め直しもしっかりと加熱しましょう。暑い夏、食中毒になっては大変です。安全で栄養のある食事をしっかり食べて夏バテにならないように過ごしていきましょう。



管理栄養士
谷口 英司

特養 4 階フロアからのお知らせ

職場体験

令和 6 年 5 月 28 日～30 日

弥富北中学校の生徒さん 4 名が、おふくろの家に職場体験にられました。



七夕

今年も七夕の季節がきました。梅雨が終わるともう夏ですね。



ドッグセラピー

レトリバーとふれ合って笑顔になっていただいています。



4 階フロアの職員紹介



皆さまこんにちは。
介護の仕事をしてから随分と年数がたちます。それでも皆さまが、日々を快適に過ごすことができるよう、毎日心がけて取り組んでいます。至らないところがあれば改めますので、ご遠慮なくご指摘ください。これからもよろしくお願いたします。
北川 睦子

